

## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場会社名 鈴茂器工株式会社  
 コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小根田 育治  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 美奈子

TEL 03-3993-1371

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,283	10.0	339	15.8	340	14.6	110	△38.7
28年3月期第1四半期	2,074	14.2	293	60.9	297	59.1	180	73.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 99百万円 (△45.2%) 28年3月期第1四半期 182百万円 (61.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	18.30	—
28年3月期第1四半期	29.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,596	8,686	82.0
28年3月期	10,407	8,677	83.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 8,686百万円 28年3月期 8,677百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,400	5.4	670	20.0	670	18.7	320	△6.7	52.83
通期	8,700	3.9	1,300	2.2	1,300	1.4	690	△11.5	113.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	6,060,000 株	28年3月期	6,060,000 株
29年3月期1Q	2,441 株	28年3月期	2,401 株
29年3月期1Q	6,057,579 株	28年3月期1Q	6,057,689 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外需とも力強さを欠く状況が続いており、景気は足踏みが長期化しております。内需では個人消費の回復は依然弱く、外需では新興国をはじめとした海外景気の減速、円高基調に加え、英国のEU離脱もあり、当面はマインドや企業収益の悪化などを通じて、下振れしやすい状況となっております。

外食産業につきましては、個人消費の低迷により全体的な売上は横這いとなる一方、人手不足は慢性化しており、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループとしては、お客様にとって満足度が高く、いち早くご相談・ご用命いただける会社として「ファーストコールマシナリー」になること、そして「信頼され、信頼に応えられる企業」を目指し、高付加価値製品の開発や、更なる販売体制の強化を行ってまいりました。

販売状況につきましては、主力製品である店舗向け小型ロボットや大型機をベースに、お客様のニーズに沿った営業活動を展開してまいりました。その一環といたしまして、国内では、当社独自の展示会「スズモフェア」や西日本食品産業創造展・FOOMA JAPAN（フーマジャパン）などの展示会を計画通り開催いたしました。海外につきましては、寿司文化の浸透を世界に働きかけるため、大規模な国際展示会に参加するとともに海外販売店との円滑な展開を収めました。また、シンガポール現地企業との合弁にて設立したSuzumo Singapore Corporation (SSC) を中心に、他のアセアン地域を含む現地ユーザーとのパートナーシップを通じて積極的に高品質なサービスを展開いたしました。

子会社では、株式会社セハー ジャパンは、アルコール系洗浄剤や離型油等の販売拡大を積極的に展開し、Suzumo International Corporation (SIC) は、新たに開設した米国ニュージャージー州の東部支店を含め、小型ロボットを中心に積極的な販売活動を行いました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間における売上高合計は22億83百万円(前年同期比10.0%増)となりました。また、利益につきましては、営業利益3億39百万円(前年同期比15.8%増)、経常利益は3億40百万円(前年同期比14.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億10百万円(前年同期比38.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(米飯加工機械関連事業)

米飯加工機械関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は21億45百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益は3億42百万円(前年同期比16.7%増)となりました。

(衛生資材関連事業)

衛生資材関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億37百万円(前年同期比3.9%増)、営業損失3百万円(前年同期は営業損失0百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加し105億96百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億58百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億79百万円増加し19億9百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が1億55百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し86億86百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により90百万円減少したこと、および親会社株主に帰属する四半期純利益により1億10百万円増加したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値につきましては、平成28年5月16日公表時から変更していません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

##### (平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

#### (会計上の見積りの変更)

##### (退職給付債務の計算方法に係る見積りの変更)

当社は、当第1四半期連結会計期間より、退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更は、従業員数が増加したことに伴い、退職給付債務の金額の算定の精度を高め、退職給付費用の期間損益計算をより適正化するために行ったものであります。

この変更に伴い、当第1四半期連結会計期間の期首における退職給付に係る負債が143,260千円増加し、同額を特別損失として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,840,174	3,998,897
受取手形及び売掛金	1,195,766	1,222,292
たな卸資産	1,378,639	1,395,882
繰延税金資産	90,172	87,722
その他	40,602	151,198
流動資産合計	6,545,354	6,855,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,683,735	1,670,478
土地	983,856	983,856
その他(純額)	230,018	219,608
有形固定資産合計	2,897,610	2,873,943
無形固定資産		
	110,760	110,132
投資その他の資産		
投資有価証券	508,154	415,653
繰延税金資産	149,840	147,974
その他	207,944	204,291
貸倒引当金	△11,895	△11,895
投資その他の資産合計	854,044	756,024
固定資産合計	3,862,416	3,740,100
資産合計	10,407,770	10,596,094
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	393,322	380,723
未払法人税等	250,151	88,908
賞与引当金	144,564	126,534
その他	392,989	615,172
流動負債合計	1,181,028	1,211,339
固定負債		
繰延税金負債	1,809	1,690
役員退職慰労引当金	13,001	13,576
退職給付に係る負債	429,006	584,342
その他	105,394	98,539
固定負債合計	549,211	698,149
負債合計	1,730,239	1,909,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	614,508	614,508
資本剰余金	443,050	443,050
利益剰余金	7,543,253	7,563,262
自己株式	△2,586	△2,628
株主資本合計	8,598,224	8,618,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,583	60,812
為替換算調整勘定	22,722	7,600
その他の包括利益累計額合計	79,306	68,413
純資産合計	8,677,531	8,686,605
負債純資産合計	10,407,770	10,596,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,074,736	2,283,026
売上原価	1,123,809	1,192,283
売上総利益	950,926	1,090,742
販売費及び一般管理費	657,785	751,256
営業利益	293,140	339,485
営業外収益		
受取利息	719	937
受取配当金	958	1,979
為替差益	1,362	—
その他	1,231	417
営業外収益合計	4,272	3,334
営業外費用		
支払利息	33	—
手形売却損	6	16
売上割引	175	375
為替差損	—	1,931
その他	—	14
営業外費用合計	215	2,338
経常利益	297,198	340,481
特別損失		
退職給付費用	—	143,260
特別損失合計	—	143,260
税金等調整前四半期純利益	297,198	197,220
法人税等	116,436	86,347
四半期純利益	180,761	110,873
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,761	110,873



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	180,761	110,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,157	4,228
為替換算調整勘定	△409	△15,122
その他の包括利益合計	1,748	△10,893
四半期包括利益	182,509	99,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,509	99,979
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。